

イベントのお知らせ・取材案内

立命館アジア太平洋大学

2016年4月26日

APU リリース 2016-11

報道機関 各位

対談企画 「熊本・気仙沼・APU」 ～東日本大震災と熊本地震、私たちのこれから～

立命館アジア太平洋大学（APU）は、今月宮城県気仙沼市と友好協定を締結しました。そのつながりから、今月中旬に起きた熊本地震を受けて、先の東日本大震災の被災地気仙沼で震災復興に携わっている2名の方と緊急対談を行うこととなりました。震災時の対応、そして震災復興について、震災を経験した熊本県、宮城県気仙沼市、大分県別府市にあるAPUの代表者が語り合います。

本対談は、本学アジア太平洋学部清家久美教授の主催で、科研費研究*と本学ムスリム研究センタープロジェクトの一環で行われます。清家教授の研究テーマは以下です。

科研費研究：「現代社会における〈農村コミュニティ〉の意義についての研究」

ムスリム研究センタープロジェクト：「APU ないしは APU を包含する別府における多文化共生の現状把握とその模索についてのプロジェクト」

【日時】 2016年4月29日（金）10時35分～12時10分

【会場】 立命館アジア太平洋大学 H202 教室

【言語】 日本語

【参加対象】 一般の方も参加可能です。

【参加費・申込】 参加費無料、申込不要

【パネリスト】

小野寺靖忠（オノデラコーポレーション専務取締役）

千葉貴弘（気仙沼復興協会 KRA 代表）

今村正治（APU 副学長）

【対談テーマ】

- 東日本大震災でパネリストが経験したこと。そこからの復興について
- APU と気仙沼市の協定締結の経緯について
- 別府市と APU の熊本地震への対応について 等

*日本学術振興会の科学研究費助成事業で採択された研究

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室（広報）担当：加藤・宮腰

Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 住所：〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1

APU ウェブサイト：<http://www.apu.ac.jp/home/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/apunews/>